

年 組 名前:

問1

「2020年度の国内食料自給率(カロリーベース)はA%で、B年度とC年度に並び過去最低水準でした」。  
A~Cに入る数字は何ですか。

- A 「            %」
- B 「            年度」
- C 「            年度」

問2

2020年度が過去最低水準となった要因を、2つ挙げてください。

.....

.....

.....

.....

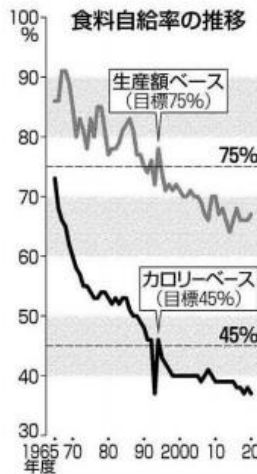
問3

食料自給率を上げるための取り組みとして、正しいものに○を付けてください。

- 「            」 国産の食べものに、もっと興味を持つ
- 「            」 食材の輸入を、全面的に禁止する
- 「            」 外国産食材は、危険だとPRする
- 「            」 地産地消の取り組みを、強化する
- 「            」 和食の良さを見直すための、食育を進める

# 食料自給率 最低37%

## 20年度 コメ、小麦とも減少



農林水産省は25日、2020年度のカロリーベースの食料自給率が前年度から1.7ポイント下し37%だったと発表した。1993年度と2018年度に並び過去最低水準。自給できているコメの需要減少や、ただでさえ輸入頼みの小麦の生産量が落ち込んだことが響いた。新型コロナウイルス禍で外食需要減少に伴う消費の落ち込みも押し下げた。新型コロナウイルスの影響では、家庭食の増加など自給率向上に寄与する要因もあったが、マイナス面が上回った。

1993年度は記録的なコメの凶作の年で、2018年度は長期的な自給率低下が続く中で天候不順となり、小麦などの生産量が減少し、いずれも37%だった。

一方、生産額ベースの自給率は前年度から1.7ポイント上昇の67%だった。単価の高い豚肉や鶏肉、野菜、果実の生産額が増加した一方、魚介類などの

輸入額が減少したため4年ぶりに上昇した。農水省の担当者は「外出自粛で清涼飲料水や土産物の菓子の需要が落ち込んだ」と説明。これらの原料として使用する砂糖類や植物油の輸入額が減ったことも上昇要因となった。

品目別(重量ベース)の自給率では、コメが前年度と同じ97%、小麦は1.7ポイント下落し15%

農水省は19年度の都道府県別の食料自給率も発表した。カロリーベースでは北海道が55%だった。

野菜は1.7ポイント上昇の80%、魚介類は2.7ポイント上昇の75%だった。

農水省は「国内で消費する食料のうち国産での程度を賄えているかを示す指標。食料の重量を熱量に換算した「カロリーベース」、金額に換算した「生産額ベース」がある。コメの消費減少や輸入飼料への依存などを背景に両ベースの指標とも長期的には低下傾向で推移している。日本はカロリーベースの自給率向上を目標に掲げ政策や予算の根幹としているが、国際的に採用している国・地域は限られ、目標としての妥当性を問う声もある。

(2021年8月26日付 山梨日日新聞6面)

21.6%で3年連続の1位となり、2位は20.5%の秋田県だった。山梨県は19%で、東京都は都道府県別の統計として初めて0%を記録した。政府は全体の食料自給率に關し、30年度にカロリーベースで45%、生産額ベースで75%へと引き上げる目標を掲げている。